

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
51211	食育推進事業(学校)	教育委員会	学務係	向山 光	石川 あけみ
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2510
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	予算コード 1002	事業名(歳出予算見積書) 事務局事務	
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の施策 体系における位置づけ	章 (コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり	
		節 (コード選択)	1節	家庭教育の充実	
		項[基本施策] (コード選択)	2項	食育の推進	
		目[主な施策] (コード選択)	1目	食育の推進	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

子どもとその家庭(保護者)

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどのような状態にしたいのですか。

「健康の源は食にある」との考えから、食生活とそれを支える家族の役割を再認識してもらい活動を推進し、健康の維持・増進を促す

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 保育園や学校の給食を通じて、子どもへの食に関する教育・啓発を行う
- 2 給食参観など、保護者に対して食生活について再認識してもらうような活動を計画する
- 3 町民に対して、何らかのイベントで、食に関するクイズや試食、子どもに対しては展示などを実施して、教育・啓発活動を実施する
- 4 地産地消の取組を実施する

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)	
①	指標名	栄養士の指導回数(町内6校)		6	8	12	0.67	12
	説明	児童・生徒に対する取組状況		目標値設定の根拠 町内各校で年2回実施する				
②	指標名	給食参観・試食会の実施回数(全保育園)		6	6	12	0.50	12
	説明	保護者への取組状況		目標値設定の根拠 町内各保育所で年2回実施する				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)	
①	指標名	朝食を食べている児童生徒の割合		90	91	98	0.93	98
	説明	朝食を毎日必ず食べる割合		目標値設定の根拠 食に対する関心の高さの変化をみる				
②	指標名	学校給食試食会及び食に関する研修会参加者の割合		67	80	100	0.80	100
	説明	食に関する会参加者の割合		目標値設定の根拠 食に対する関心の高さの変化をみる				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 見込み
対前年比	%		#DIV/0!	#DIV/0!
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)				
B)一般財源(税金)		0	0	2,912
①事業費	(千円)	0	0	0
対前年比	%		#DIV/0!	#DIV/0!
②人件費の概算	(千円)	0	0	2,912
対前年比	%		#DIV/0!	#DIV/0!
		年間人件費	年間人件費	年間人件費
		課長	課長補佐	係長
		一般職員	延べ人数	
		H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.50
臨時職員		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	B	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある → 食育については、小中学生だけでなく、町民全体を対象とした取組が必要と考える
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある → 全ての年齢層の町民を対象とした食育活動との連携が必要 C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している → 学校栄養士が集約したアンケートの結果などから、児童・生徒状況の把握をしている C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

平成24年度から、食育の取組部署を明らかにし、基本計画策定を目標に進めていく。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

園児、小中学生を対象とした食育の推進事業という位置づけを、全ての年齢層の町民を対象としたものとして、辰野町の食育基本計画を策定する

24年度予算見積書への反映 あり なし

〔反映内容〕

人員増

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

食育はこれまで各分野において行われているが、国・県の食育基本計画と連携した町の基本計画を定め、その下に体系的に進めていく必要がある。関係各課・機関と協議のうえ、策定に向けて取り組む。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



b 上記 a~e を選択